

製品名: TOP2A マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82423**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:100-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	174.4kDa

抗原情報

遺伝子名	TOP2A
別名	TOP2; TP2A
遺伝子 ID	7153.0
SwissProt ID	P11388
免疫原	大腸菌で発現したヒト TOP2A (AA: 1100-1530) の精製された組み換え断片。

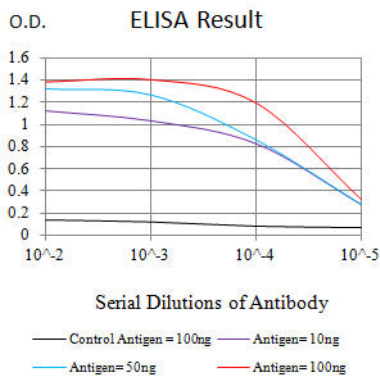
背景

この遺伝子は、転写中に DNA のトポロジカル状態を制御および変更する酵素である DNA トポイソメラーゼをコードします。この核酵素は、染色体の凝縮、染色分体の分離、DNA の転写および複製中に発生するねじれ応力の緩和などのプロセスに関与しています。

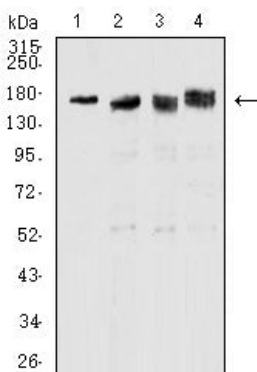
この酵素は、二重鎖 DNA の 2 本の鎖の一時的な切断と再結合を触媒し、鎖が互いを通り抜けることを可能にし、それによって DNA のトポロジーを変更します。この酵素には、遺伝子重複イベントの産物として 2 つの形態が存在します。この形態をコードする遺伝子 (α) は 17 番染色体に、 β 遺伝子は 3 番染色体に局在します。この酵素をコードする遺伝子は、いくつかの抗癌剤の標的として機能し、この遺伝子のさまざまな変異は薬剤耐性の発現と関連付けられています。この酵素の活性低下は、毛細血管拡張性運動失調症にも関与している可能性があります。

研究分野

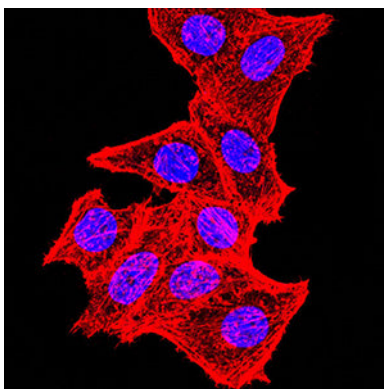
画像データ



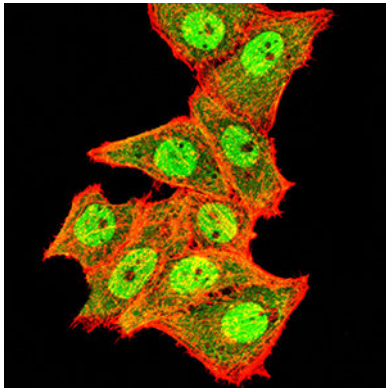
黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



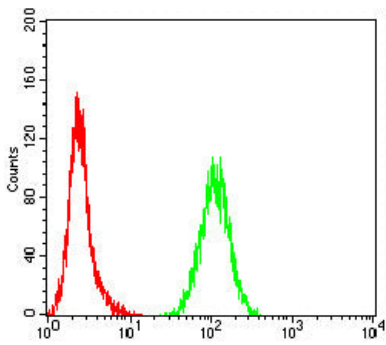
PC-12 (1)、HeLa (2)、Jurkat (3)、および K562 (4) 細胞溶解物に対する TOP2A マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



TOP2A マウス mAb を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識したアクチンフィラメント。



TOP2A マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



TOP2A マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。